

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	No.B-1	調査位置				北緯	36° 29' 56.8000"				
発注機関	栃木県宇都宮土木事務所			調査期間	2008-09-22 ~ 2008-09-25			東経	139° 54' 45.7000"		
調査業者名				主任技師				現場代理人	コア鑑定者		
孔口標高	99.94 m	角度		方向		地盤勾配		使用機種	試錐機		
総掘進長	8.42 m	ハンマー				落下用具	ポンプ				
					エンジン						

標尺	層高	厚	深	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試験番号 (m)	採取方法	室内試験	掘進月日	
												深度 (m)	10cmごとの打撃回数			貫入量 (cm)							N 値
													0	10	20								
(m)	(m)	(m)	(m)									(m)											
1	98.79	1.15	1.15		埋土 (Fi)	暗褐			軟らかい。含水量-中～多位。粘着性-中位。 ローム主体に黒ボク・軽石が混じる。		09/22 2:10	1.15	1	20	1	3	2						
	98.34	0.45	1.60		シルト (M)	暗褐			軟らかい。旧表土。深度1.40m付近に礫が点在する。		1.60	1	20	15	1	45							
2	97.69	0.65	2.25		シルト (M)	黒灰			非常に軟らかい。有機質シルト。腐植物が混じる。含水量-多い。粘着性-大位。		2.00	00	25	2	2	4	3						
	97.14	0.55	2.80		礫質砂 (SG)	灰褐			緩い。孔壁の崩壊が顕著。粗-中砂優勢に、径2～40mm程度の円礫が多く混じる。		2.45												
3					砂礫 (GS)				中位に締まる。最大礫径8cm程度が混じる。 径10～40mm程度の垂円・円礫主体。マトリックスは砂。		3.15					33	33						
4											3.45												
						褐灰					4.15				20	50	>50						
5											4.44		15	15	9	29							
											5.15												
6	93.94	3.20	6.00		砂礫 (GS)				中位～密に締まる。 推定礫径20～30cm内外の玉石が混じる。径10～40mm程度の円礫が主体。 マトリックスは細粒分が混じり砂。		5.45		15	15	16	46	46						
7									深度6.75～7.35m付近に細粒分混じり砂を挟む。 深度7.50m付近にコア長10cm程度の玉石が介在する。		6.15					25	25						
						褐					6.45		5	8	12	30							
											7.15					43	43						
											7.45		3	5	35	30							
8	91.52	2.42	8.42								8.15				12	50	>50						
											8.42		20	18	7	27							